

情報表現基礎 1・演習  
課題通信 【Fクラス】

2000・10・12

今日の流れ

ブリーフィング（今日は何をするのか?!）

今日は fo lly作り。

各自の制作

リフレクション（何を学び、試みたのか反芻する）

制作の流れ

1/ fo llyのプランを練ります。

【クロッキーブックに絵と文字で描きます】

場所は？

どんな形？

制作の意図を聞かれたらどう答えよう？

類似作品がネット上にないかしらん？

素材は、各自のVP棒と、ストロー（全部で2000本 必要なだけ各自が確保してください）ビニールシート（厚み0.05mm 全部で200m利用できます）

2/条件

各自の体を包めるほどの大きさであること。

作品自体に自立性があり、移動が可能であること。

その作品が何を表現し、何を伝えるのかを見に来た人に説明できること。設置場所は1階アトリエとそれに隣接するスタジオ。

制作プランをスケッチと文字で表現し、制作過程を記録すること。

fo llyには誰が作っているのかがわかるように何らかの表示が工夫されていること

3/ fo llyで何をする？

おおまかなイメージ、、、。

子供時代に作った「隠れ家」「秘密基地」。

各自の fo llyから何らかの情報発信をしてほしい。

コミュニケーションの触媒としての fo lly。

来週のこの授業までの間に、ときどき制作を追加して、中に籠もって、通りがかりの人をその空間に招いて「作品について」語り合うこと^^；

語り合ったことは、ドキュメントとしてまとめること。

対話の相手が登場しなかったら、友人・知人と！

4/とはいえ、 fo llyは透明で、軽快で美しいことが前提になる。各自、インターネットや3階情報ライブラリーを活用して、十分にプランを練り、制作も行うこと。

前回の制作状況は

<http://www.fun.ac.jp/~kmura/kmura/index1.html>

Fo lly!  
は透明で  
軽快  
美しい